

卒後まもなくの新人医療者が卒前教育に関わる意義とは

プレゼンター：有井真弓

ナビゲーター：宮地由佳（MEDC）

基礎教育と現場教育の乖離を埋める手法として、医療者教育学で注目されているのが「ニアピア・ラーニング」。これは世代の近い先輩が指導役となり、対話を通じて知識の伝達を超えた協働的経験をする手法です。本セミナーでは歯科衛生士の事例を基に、職種を問わず「卒前の後輩育成」に関わる意義を考えます。後輩との関わりは、相手の成長だけでなく、自身の指導概念の発展や職場での役割認識のアップデートをもたらします。ご自身の教育経験を振り返り、自らの成長を実感できる対話の場になれば幸いです。

アソシエイトポイント：TL 0.125